# 北九州市営バス事業あり方・役割検討会議

# (第3回)資料集



## 令和7年2月14日 北九州市交通局



※各ページの番号・タイトルは会議資料と合わせています。

### 1 第2回会議での意見を受けて〔普通運賃の改定(試算)〕

収支均衡に必要な2.8億円を普通運賃の改定だけで生み出すためには、

逸走率を考慮しない場合 初乗運賃「280円(改定率 33.1%)」

逸走率 10%の場合 初乗運賃「310円(改定率 44.1%)」

逸走率 20%の場合 初乗運賃「350円(改定率 58.8%)」

逸走率 30%の場合 初乗運賃「390円(改定率 73.5%)」 となる。

改定状況	初乗運賃 改定(案)		仮の逸走率を見込む				
		改定率	仮の逸走率 (目安)	効果額	収支均衡 までの額		
据え置き	190円案	0. 0%	0. 0%	_	▲2.8億円		
西鉄バス相当	230円案	14. 7%	3. 0%	9千万円	▲1.9億円		

<sup>※「</sup>収支均衡までの不足額」を2.8億円と仮定(令和5年度損益収支1.5億円に令和6年度処遇改善分を含む)

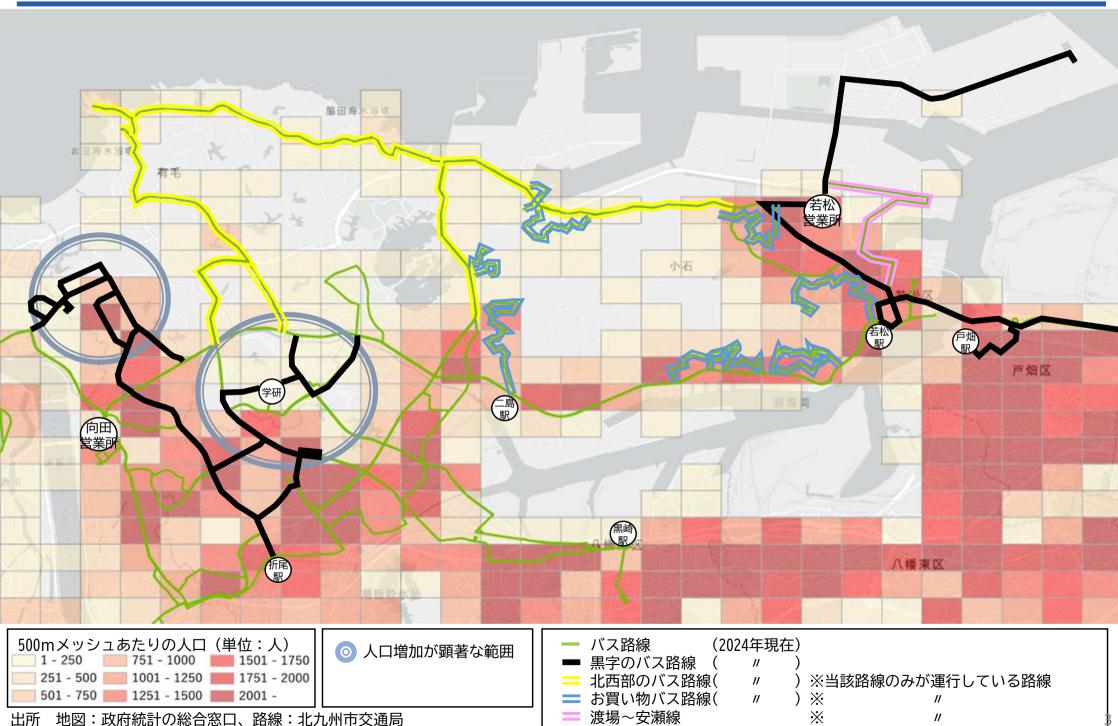
#### 【参考:市営バスにおけるダイヤ改正、運賃改定に伴う過去の逸走率】

改正時期	H23.4.1	H24.4.1	H25.4.1	H26.6.1	H28.9.1	Н31.3.30
改正内容	ダイヤ改正	ダイヤ改正 +運賃改定	ダイヤ改正	ダイヤ改正	ダイヤ改正	ダイヤ改正
改正前便数(平日、土・休日合算)	3112	2,996	2,735	2,709	2,481	2,419
改正後便数(平日、土・休日合算)	2996	2,735	2,709	2,481	2,419	2, 264
減便率(平日、土、休合算)	-3.73%	-8.71%	-0.95%	-8.42%	-2.50%	-6.41%
逸走率(前後1年間の輸送人員で比較)	-1.17%	-4.89%	-0.02%	-12.53%	-2.35%	-5.46%

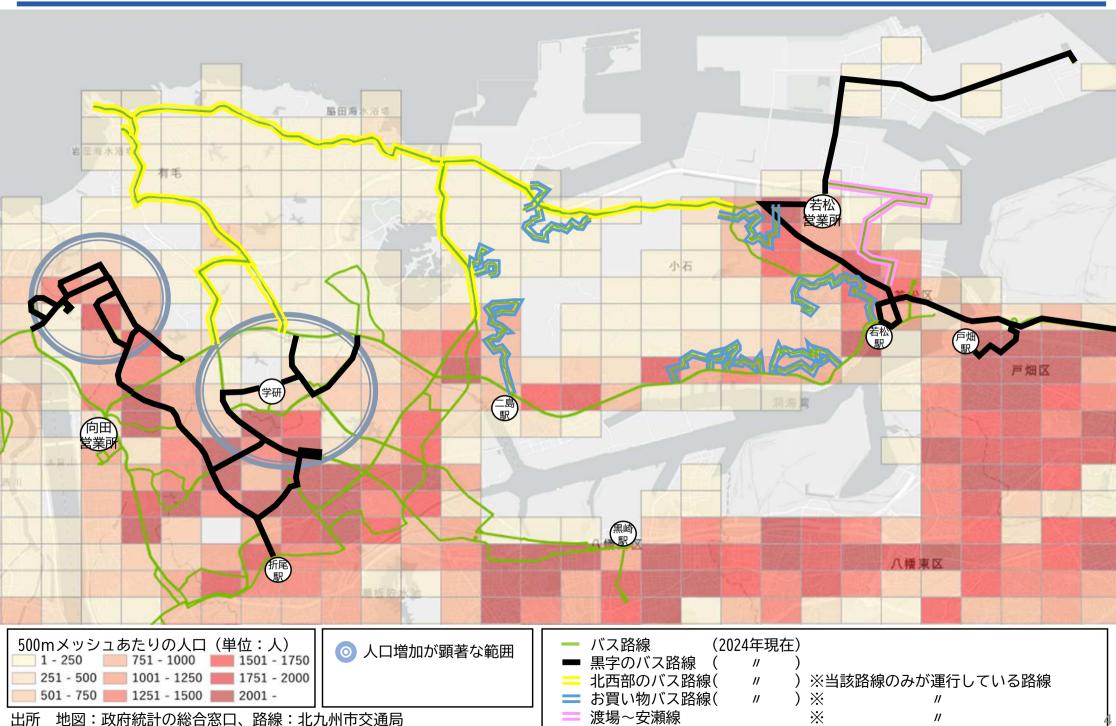
※令和2年度以降は、新型コロナウイルスの影響下のため除外

平成26年4月の消費税分の運賃改定(改定率 2.854%) 平成25年8月のふれあい定期券の値上げ(2倍に改定) の影響

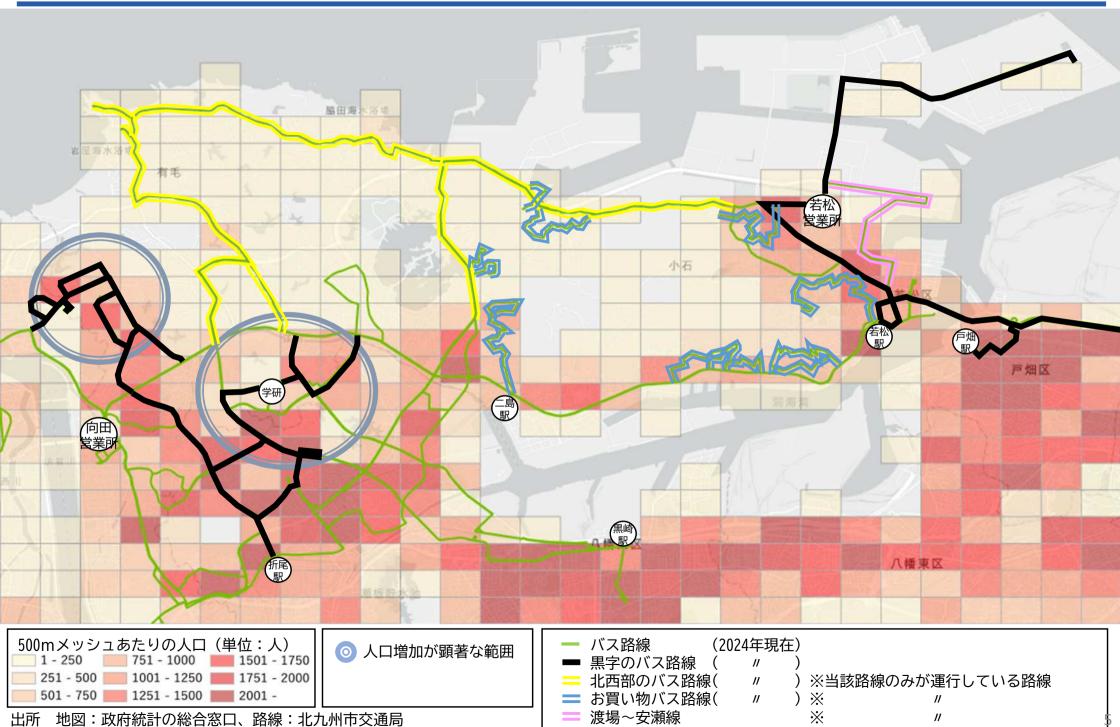
## 2 2000年当時の人口分布(若松区の人口 91,252人)とバス路線 (2025年現在)



## 2 2010年当時の人口分布(若松区の人口 86,118人)とバス路線 (2025年現在)



## 2 2020年当時の人口分布(若松区の人口 81,547人)とバス路線 (2025年現在)



## 2 新たな運行形態の導入検討路線

